

## 次期システムの教育実習環境について

総合情報処理センター 車古 正樹

平成10年3月初旬に現在の機種を更新することにより各実習室の環境は表1、表2、表3となる。その他にセンターユーザー室にセンター実習室のパソコンと同一のソフトをインストールしたパソコン17台、工学部分室に工学部実習室のパソコンと同一のソフトをインストールしたパソコン10台が研究・教育用として設置される。また、センター第二実習室には学部・学科などで学生にノートブックパソコンを購入させた場合の実習教育が行えるように情報コンセント48個を準備してある。

表1 実習室に導入されるハードウェア

略称	実習室名	ハードウェア	備考	
C1	センター第一実習室	FMV-6200D8 61式 Pentium Pro 200M VSP4610 1式 LP-9200PS2 4式	内教官用 1式 主記憶 32 MB 汎用機用出力 パソコン用出力	パソコン プリンター プリンター
C3	センター第三実習室	FMV-6200D8 62式 Pentium Pro 200M LP-9200PS2 4式 GT-5500WINS 2式 FMV-SK4 9式 CU-SeeMe3.0 ルコラパック 9式	内教官用 2式 主記憶 32 MB パソコン用出力 イメージ入力用 会議システム用	パソコン プリンター スキャナー サウンドキット CCDカメラ
C4	センター第四実習室	S-4/5H-170 48式 Turbo SPARC 170M LP-9200PS2 2式	内教官用 1式 主記憶 32 MB UNIX 出力用	EWS プリンター
P1	薬学実習室	FMV-6200D8 19式 Pentium Pro 200M VSP4610 1式 LP-9200PS2 1式	主記憶 32 MB 汎用機用出力 パソコン用出力	パソコン プリンター プリンター
M1	保健学科実習室	FMV-6200D8 6式 Pentium Pro 200M VSP4610 1式	主記憶 32 MB 汎用機用出力	パソコン プリンター
T1	工学部実習室	FMV-6200D8 32式 Pentium Pro 200M VSP4610 1式 LP-9200PS2 2式	内教官用 1式 主記憶 32 MB 汎用機用出力 パソコン用出力	パソコン プリンター プリンター

表2 実習室に導入されるEWSのソフトウェア

ソフトウェア	説明
日本 Solaris2.5.1	System Vリリース4をベースとして、Sun独自の付加機能を統合した、分散処理環境なオペレーティングシステム
日本語 Netscape Navigator V3.01	WWWブラウザ用ソフトウェア
Mule 2. 3	日本語対応エディタソフトウェア (フリーウェア)

表3 実習室に導入されるパソコンのソフトウェア

ソフトウェア	説明	実習室名略称				
		C 1	C3	P1	M1	T 1
Microsoft WindowsNT Workstation Operating System V4.0	グラフィカル ユーザインタフェースの採用により、操作性向上を実現したプリエンティブ 32bit マルチタスク OS 利用者管理あり	○	○	○	○	○
Microsoft Office 97 Standard	Word 97 : ワードプロ Excel 97 : 表計算 Power Point 97: プレゼンテーションツール Outlook 97 : 事務ツール	○	○	○	○	○
タイプトレーナ T r r	タイピング練習用ソフトウェア (シェアウェア)	○	○			
AL-Mail	直観的なユーザインタフェースと強力なメール管理機能を持った電子メールツール (シェアウェア)	○	○	○	○	○
秀丸エディタ	高速・多機能なエディタ。高機能なマクロ言語を搭載 (シェアウェア)	○	○	○	○	○
Netscape Communicator	WWWブラウザ	○	○	○	○	○
Microsoft Internet Explorer	WWWブラウザ	○	○	○	○	○
Borland Delphi 3 Standard	Windows95 のスタイルのアウトライン等様々な目的に応じた多くのコンポーネント、ネイティブコンパイラ、データベースへの対応を総合化したソフトウェア	○				
Microsoft Visual C++5.0 Professional Edition	Wizard 等のツールや Microsoft Foundation Class(MFC)5.0 等を提供するソフトウェア		○			○

Microsoft Visual Basic5.0 Professional Edition	ネイティブコンパイラ、Active X コントロール作成、Microsoft Jet3.5、高度なシステム構築を可能にする開発環境を提供するソフトウェア		○	○	○	
Fujitsu Fortran90 Edu. Package V1.0	Fortran の作成、翻訳、デバッグ、チューニング、実行支援するための標準的な言語開発環境を提供するソフトウェア			○	○	○
画殿蔵衛門	画像の整理をドラッグ&ドロップで簡単に行える、アルバムタイプの画像整理ツール (シェアウェア)	○	○			
WSMGR V4.1 通信制御サービス	富士通のホストコンピュータと接続し、fortran や SAS などの教育に利用する通信ソフト	○		○	○	○
PC-Xware 2.0	Windows と UNIX との接続を簡単に実行するソフトウェア			○	○	○
Tera Term Pro Version 2.2	telnet 用ターミナルエミュレータ機能を提供するソフトウェア (フリーウェア)	○	○			
WS FTP 32	マウスクリックだけでオンラインソフトウェアをftpでダウンロードできるソフトウェア	○	○			
Adobe Photoshop 4.0	豊富な機能で、効率的な画像などのデザイン編集を行うことができるソフトウェア		○	2式		
Enhanced CU-SeeMe	パソコンのデスクトップ上で、リアルタイムなビデオ会議を実現するソフトウェア		○	9式		
RUCOLA Edit	CCD カメラ” RUCOLA”でフルカラー動画&静止画のキャプチャと、加工・編集を行うための、RUCOLA 専用のソフトウェア		○	9式		

以上、パソコン及びワークステーションについての仕様を表にまとめたが、この他に教育実習としてパソコンやワークステーション端末からサーバを利用した実習も行える。

サーバとして教育用にメールサーバ、WWWサーバ、フロントサーバ (fortran, c++ 等) がある。

これらのソフトウェアやハードウェアは総合情報処理センターの情報処理教育専門委員会や全学の情報処理系幹事会、仕様策定委員会などで調査・検討したものを運営委員会で決定したものである。

今回のシステムは4年間このまま利用するだけでなく、必要に応じてソフトウェアを追加することが可能である。追加については今後、センターの情報処理教育専門委員会で調査検討を行う。希望があれば情報処理教育専門委員会委員長に申し出ると良い。ただし、ソフトウェアの保証、インストール、維持管理、及び購入費など多くの問題があるため、申込者はそれらの調査や負担について委員会と協力して解決する必要がある。

授業がより効果的に行えるように第一、第三実習室にはプレゼンテーション機器が準備されており、第4実習室にも平成9年度中に設置できるよう準備中である。また、第二実習室では移動用液晶プロジェクターが利用できる。

平成10年度からは情報処理演習科目も増加する方向にあり、これらのシステムが十分に利用されることが期待される。